

科目名	総合課題探求Ⅱ（応用） Comprehensive practicum Ⅱ （Advanced）			担当教員 （研究室番号）	大川 明子 犬飼 さゆり 安部 彰 浦野 茂 大平 肇子 鈴木 聡美		教員への連絡方法 （メールアドレス）						
履修年次	4 年後期	科目区分	総合科目			選択区分	必修	単位数 （時間）	1 （15）	授業形態	演習	科目等履修生	否
												オープンクラス	否
科目目的	看護専門職として、倫理的課題を解決していくための探求能力を養う。異学年と交流し、協同して探求力を養成する。他者・外在的な観点から看護をとらえなおすことで自己理解を深める。												
ディプロマ・ポリシー （DP）	主要なDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度）											
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解） G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。（関心・意欲）											
到達目標	1. 看護実践の場面における倫理的課題について着眼することができる。 2. 倫理的課題について、分析し、解決方法を検討できる。 3. 異学年とのグループワークにより、多様な考え方を持つメンバーと交流し、前向きな議論をすることができる。												
成績評価方法 （基準）		レポート 80% 発表 20%											
再試験の有無と基準等		なし											
教科書		なし											
参考書等		授業時に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待		倫理学を学ぶことで、他者だけではなく自己の理解を深め、また倫理的想像力・感受性を養ってほしい。看護倫理の問題に本格的に直面するのは臨床に出てからであるが、それを他人事ではなく「私の」問題と受けとめ、意欲的に授業に参加してほしい。											
備考													
回	学習項目				学習内容						主担当教員	授業方法	
1 回	イントロダクション				倫理とは何か 1. 倫理 2. 倫理と道徳 3. 倫理と法						大川	講義	
2 回	事例における倫理的課題の検討 1				個人に関する情報と倫理						大川	演習	
3 回	事例における倫理的課題の検討 2				多職種連携と倫理						大川	演習	
4 回	事例における倫理的課題の検討 3				患者・家族との信頼関係と倫理						大川	演習	
5 回	事例における倫理的課題の検討 4				インフォームド・コンセントと倫理						大川	演習	
6 回	発表準備				発表準備 各グループごとに発表内容を検討し、資料を作成する。						犬飼	演習	
7 回	検討内容の発表				各グループごとに検討した内容を前・後半のグループに分かれて発表する。今回は前半13グループ。						犬飼	演習	
8 回	検討内容の発表				各グループごとに検討した内容を前・後半のグループに分かれて発表する。今回は後半12グループ。						犬飼	演習	

学 習 課 題
2～5回目課題（授業後に提出）：事例における倫理的課題の検討内容をレポート提出する。

実務経験を活かした教育の取組